

香川の歴史と地域活性化のための オーディオドラマ制作プロジェクト活動

代表者 福井麻紀（地域マネジメント研究科2年）

1. 目的と概要

本プロジェクト事業は、地域マネジメント研究科の授業において香川の観光と歴史や文化について取り上げ、またフィールドワークでの現地調査などを繰り返す中で、歴史から地域活性化を図るコンテンツの重要性鑑みた結果として、短編映画脚本を完成させるに至った。

授業自体は終了したものの、脚本制作過程において履修者の間で意識が醸成され、このまま脚本だけで終わらせるのではなく、1つのコンテンツとして昇華させ、授業外の時間を用いて私たちが自主的にオーディオドラマ作品として完成させることで地域の魅力発信に寄与できると考えた。オーディオドラマの選択した理由として、愛媛県の南海放送がラジオドラマで「ソローキンの見た桜」を制作し、その作品が第1回目日本放送文化大賞ラジオ部門でグランプリに輝くなどして注目を集め、授業でも講評いただいた益田祐美子プロデューサーがコミットすることで日露合作の本格的な映画(2019年日本公開)が誕生した例を知り、低予算内で実現可能で、なおかつクオリティを保てる作品をつくることで長編映画製作への足掛かりになると構想した。

近年、香川の観光地として父母ヶ浜や高屋神社などがメディアでとりあげられるようになったが、広く認知されていない観光地も数多く存在し、各地に伝わる歴史や由来などもまた知られていない。讃岐広島では潜在的な観光コンテンツもあるが未開発であり、まだまだ発展の余地があるとフィールドワークなどを通して強く感じていた。それらの未発掘の観光コンテンツを抽出し、磨き上げる為の最初のステップが重要であると感じ、それを娯楽コンテンツの中で象徴的に登場させることで新たなアプローチでの地域活性化を目指すこととした。

私たちは、ストーリーの中で讃岐の風景に加えて観光地や特産物などを描き出すことで、聴取者に向けて讃岐の歴史や文化を深められるような演出を取り入れ、これらを SNS 等の媒体を駆使して県内外に広く発信するとともに潜在的観光コンテンツの顕在化を目指したいと考え活動に取り組んだ。

2. 実施期間（実施日）

令和3年6月1日から 令和4年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

動画制作においてはクオリティが担保できないことと、扱う内容が歴史の物語が入る為予算が限られることを鑑み、オーディオドラマ制作に舵を切った。元々映画制作用に脚本を仕上げていた為、オーディオドラマ制作にあたって映画用に制作していた脚本の再編集と実際に役者をキャスティングし、ラジオ局での収録を行った。音声・音楽等の編集においては経験がなかったが、編集ツールを用いることと、役者をキャスティングできたこと、録音環境がプロ現場で用いられているものを使用できたことで20分を超えるオーディオドラマの制作を行うことができた。

オーディオドラマの内容では戦国時代からタイムスリップしてきた主人公・長宗我部元親が時空を超えて現代に流れ着き、各地を旅する中、人々との出会いや人間関係を通し、人々の様々な愛情を受けることで少しずつ悔い改め成長していく様を描いている。その中では姫浜や高屋神社、丸亀城などを象徴的な場所として演出することができ、また地の物を活かした料理も含めることができた。実際に存在する場所が出てくることから地元の人には場所をイメージしながら聞くことができ、またその地を知らない人にも伝わるようナレーション等で情報を補完することも行なった。

エンタメコンテンツではあるが、観光地をピックアップしていることから聴取者に讃岐の風土や文化、歴史を紹介・広報できるように配慮し工夫を施している。また、この作品の聴取者が讃岐の歴史や風土・文化に目を向けてもらうこと、その地域に住んでいる方々がその地に誇りを持つこと、地域活性化の一助となる当事者意識を醸成すること、この3点が本作品の制作意義である。これらは20分のオーディオドラマで伝え、感じてもらうことが可能であると考えている。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

地方創生や観光創造としてPR動画を制作するところほどの自治体も多い。自治体主導のそのようなプロモーション動画は事実ベースで制作される為、悪く言えばどこも似たり寄ったりなものになってしまう。その一方で本プロジェクトにおいては大学の学生主導での制作を行うことで自由度が非常に高く、イベント等の一過性のものでなくオーディオドラマという広げることが可能でなおかつ残るものを制作できたことで、本学及び地域社会等に寄与できると考えている。また、この史実と虚構が上手く混ざった学生主導のオーディオドラマという手法を用いた地域活性化プランは全国においても数少ないと考えている。

現段階では制作に留まり、十分な評価を第三者から受けている訳ではないが、作品完成後の活動で地域社会へどのように派生され、影響を与えることができるのかは今後の継続的な活動で分析・改良を続けていく所存である。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

香川の歴史や文化、風土をフィールドワークと脚本制作を通して再確認できたことや、制作過程で人との繋がりや人脈の広がりを感じられたことは今回のチャレンジがなければ生まれなかったものであると認識している。また、20分のオーディオドラマ制作というだけでも述べ30人以上が制作に関与しており、地域貢献を目的に動いている人には手が差し伸べられることを実感することができた。

地域貢献にはその地域の当事者意識とコンテンツの充実が課題であり、地域活力に新たな起爆剤を与える取り組みは継続して行う必要があることも感じた為、今後の取り組みにおいても今回実施したことが経験として生きるように感じている。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

新型コロナウイルス感染症の影響から、活動に非常に制限がかかり予定通りに活動ができず、大幅なずれが生じた。そのことから、打ち合わせの場所の確保や撮影が困難になったことでシナリオの修正、収録延期にもなった。演者との再調整と人材集めも加わり時間の調整に苦労した。それに伴い、予算の見込みも難しく企画変更をせざる負えない状況にもなった。今後は可能であれば途中の予算変更の許可など社会情勢への対応も考慮に入れていただければと思う。

今後の活動としてはインターネット公開、電子書籍化、各地域へアプローチをかけながら修正を加え、クオリティを高めていき、エンタメコンテンツとして自治体に提供していくことを計画している。最終の目標としてはショートフィルムとして映画化に繋げていきたいと考えている。

7. 実施メンバー

代表者 福井 麻紀（地域マネジメント研究科2年）

構成員 榎 恵子（地域マネジメント研究科2年）

川染 慧（地域マネジメント研究科2年）

伊丹 準二（地域マネジメント研究科2年）

木田 誠（地域マネジメント研究科2年）

8. 執行経費内訳書

配分予算額		199,936円		
執行経費（品目等）	数量	単価(円)	金額(円)	備考
スタジオ使用、録音オペレーター （エフエム香川）	1	31,900	63,800	
ナレーター及び声優出演料	8		80,000	
ノック式USBメモリー	2	10,000	4,400	
アドビ コンプリートプラン	1	0	10,890	
		2,200		
合計			159,090	